

Profile 「ヒデ2(ヒデツー)」

「ヒデ 2」は、かまくら認知症ネットワーク会員で、57歳のとき若年性アルツハイマー病の診断を受けた近藤英男(逗子市在住 68歳)と、かまくら認知症ネットワーク代表の稲田秀樹が2017年に結成したフォークグループ。1970年代のフォークソングを中心に十数曲のレパートリーがある。ライブや講演には近藤英男さんの妻小夜子さんも同行し3人で活動している。小夜子さんはマネージャー的存在でもある。「ヒデ 2」結成から3年半の間に地域のサロンや講演会、イベント等で100回以上のライブを行っている。2017年神奈川県世界アルツハイマーイベントのステージで演奏する様子はTV 神奈川で放送された。2019年発売のCD「ミンナオナジ」に「ヒデ 2」の歌う2曲が収録されている。2020年NHK厚生文化事業団「認知症とともに生きるまち大賞」を受賞した。

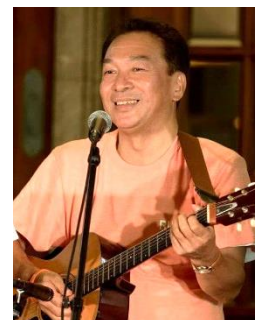
Message 近藤英男

「私は57歳のときアルツハイマー型認知症の診断を受けました。現在68歳です会社を退職後は週4日デイサービスに通いながら地域の活動にも参加しています。記憶障害や生活の支障はあるものの、若い頃好きだったギターを再びはじめました。前向きで明るい性格です。「ヒデ 2」ではギターとハーモニー(ハモリ)を担当しています」



Message 稲田秀樹

「私は若いころギターに触れたことがあるくらいでしたが、近藤さんと一緒に35年ぶりにギターを手にしました。簡単なコードなら大丈夫と思って「ヒデ 2」の活動を始めました。仕事で認知症の方と付き合っていますが、みなさん感性が豊かですね。「ヒデ 2」では、支援する、される関係を超えて、互いにパートナーであることを大切にしています」



Message 近藤小夜子(妻)

「夫の認知症がわかってからたくさんの人とつながりができました。地元の逗子でも認知症啓発のお手伝いをさせていただいています。日々の介護で苦勞することが増えていますが、健康でいてくれればと思っています。「ヒデ 2」ではほんのちょっとですがマネージャー的なこともしています」